

信州大学広報・放送公開講座に係る放送番組の企画・制作及び
放送等委託業務 質疑応答

Q<1>別紙1仕様書 5. 業務内容 ⑥について、納入する DVD 及び MPEG2データは CM を含むか。

A<1>CM を含まない DVD 及び MPEG2データを納入してください。

Q<2>公募要領 6. 企画提案書提出方法等 (3)提出書類 ②各年度概算見積書について、平成28年度及び平成29年度のテーマが未定となっているため、当該年度の見積り金額の算出が困難であるがどうすればよいか。

A<2>平成28年度及び平成29年度のテーマは未定ですが、放送回数は平成27年度と同様に6回ですので、それに基づいて概算の見積書を提出してください。また、本案件は平成27年度から平成29年度の候補者の選定であり、契約については年度ごとに単年度契約となります。選定した候補者との間で、年度ごとに企画提案書等を基に契約条件を調整し、その内容を勘案して決定するものであり、必ずしも今回ご提出いただく各年度概算見積書の金額で契約するというものではありません。

Q<3>4. 番組の基本コンセプトの中の番組作りの必要要件①わかりやすい”〇〇と比較するモノサシ”があることの”〇〇と比較するモノサシ”について、どのような意味か教えて下さい。

A<3>この仕様書でいうモノサシとは、目に見えないもの、認識しにくいものを可視化、または知覚化するものをイメージしています。ただし、本学が提示するイメージに縛られることなくご提案をいただきたいため、モノサシの具体的な回答はできませんが、以下のとおり参考にしていただければと思います。今回、企画提案のテーマとしてあげている「先鋭領域融合研究群」は、これまでの文系や理工系といった従来の学問の領域区分を超えて、それぞれの研究群の研究者(教員)が相互に融合し、研究を進めることが基本的な考え方となっています。このことから学問の分野にとらわれない考え方や物事の捉え方、価値観をモノサシを用いて、各研究所の紹介を行っていただきたいと思います。また、本契約は3年を念頭においたものであり、平成28年度及び29年度において、必ずしも研究がテーマとは限らないため、その際にも対応できるようなアイデアやスキルを期待します。

Q<4>企画提案書に信州大学のウェブページで掲載している画像の画面コピーを使用してもよいか。

A<4>当案件のプレゼンテーションで使用する企画提案書に掲載することは問題ありません。

Q<5>プレゼンテーションでプロジェクターを使用してもよいか。

A<5>プレゼンテーションの際は、プロジェクター、スクリーン及びノートパソコンをこちらで用意します。プレゼンテーションで使用するデータはPDFファイルで、12月8日(月)17時までに担当者へメールにてご提出ください。